

## ルール全員で守る

唐桑トンネル舗装で  
佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は4日、宮城県気仙沼市と岩手県陸前高田市で施工している「平成29―30年度唐桑地区トンネル舗装工事」の現場で安全パトロールを実施した。現場の安全や作業環境、社員の働き方改革について確認し、その対策を指導した。

巡視した石井社長は「現場は整理整頓されており整然としているが、今後設備業者との輻輳（ふくそう）作業が考えられる。現場のルールは入場する全員で決め、全員で守ることが重要となる。日々の安全衛生活動を継続し、無事故・無災害で工事を完成させ

作業環境を確認する石井社長（左から2人目）



てもらいたい」と述べた。

東北地方整備局仙台河川国道事務所発注の同工事は2018年度末開通予定の10キロの区間のうち、暫定2車線、延長910坪のコンクリート舗装工事で、縦取り式スリップフォーム工法で施工する。週休2日制を継続中で工事完了までの完全実施を目指している。工期は17年11月18日から18年11月16日まで。

